

# 公立大学法人大阪府立大学 平成19事業年度の取組実績

## 大阪府立大学が目指すもの (4つのキーワード)

- 知の創造 (豊かな社会の構築につながる独創的で先駆的な高度な研究の推進)
- 知の継承 (幅広い教養や豊かな人間性と高度な専門的知識を備えた社会をリードする人材の育成)
- 知の活用 (産学官連携等の積極的な展開による研究成果の活用)
- 知の交流/ 地域貢献 (広く府民や海外にも開かれた「知」の交流拠点としての大学づくりの推進)

## 重点的な取組事項

- 高度研究型大学を目指した教育研究水準の向上
- 大学の将来像(ビジョン)についての検討
- 産学官連携機構を核とした、地域・社会貢献
- 自立性・機動性を発揮した戦略的な大学運営

- 業務運営の効率化・合理化の推進
- 外部研究資金の獲得の強化
- 内部監査の充実
- 柔軟で弾力的な人事制度の推進

- 自己点検・評価の実施
- 中百舌鳥キャンパス及びりんくうキャンパスの施設整備

## 教育研究活動

### 教育内容の充実・改善

- 文部科学省の教育改革支援事業の活用

特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)  
:19年度新規採択

現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

がんプロフェッショナル養成プラン  
:19年度新規採択

成果

- ・副専攻課程「堺・南大阪地域学」の開講
- ・事例学習用のeラーニング教材の活用
- ・学部教育・大学院教育の充実

- 転学部・転学科制度の実施 (転学部:5学部4名、転学科:2学部5名)
- 社会人リカレント教育の充実
  - ・長期履修制度の実施 (4研究科・27名)
  - ・森ノ宮サテライト教室の設置(新規取組)
- 大学の将来像(ビジョン)についての検討

### 競争的環境の醸成

- 学長裁量経費の活用による教育研究分野の活性化

### 研究水準の向上

- 先端科学分野(IT、ナノ、バイオ、環境)における高度な研究の推進
- 21世紀COE・現代GPなど既存プロジェクトの推進と新規プロジェクトの採択(2件)
- 企業等との共同研究や自治体との連携の推進

### 学生への支援

- 学生支援GPI「WEB学生サービスセンター」の推進(新規取組)
- 就職支援の充実

## 地域・社会貢献

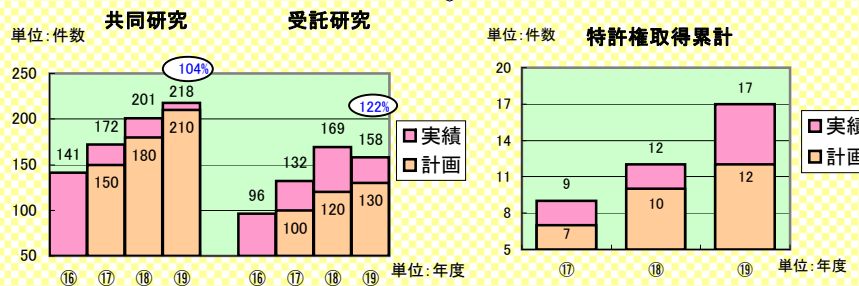
### 地域社会に開かれた大学の充実

- 社会人に開かれた大学の充実
  - ・長期履修制度の実施 (4研究科・27名)
  - ・森ノ宮サテライト教室の設置(新規取組)
- 多様な公開講座の実施 (計画:26講座→実績:34講座)
- 高大連携の推進(大阪府教育委員会との包括協定締結)

### 産学官連携の拡充

- 活発な民間企業等との共同研究に関するマッチング活動等の展開
- 府内自治体や地域の大学との連携推進

計画を上回る共同研究・受託研究等の実績



### 府政との連携の推進

- 府政の課題に対応した研究の推進(2件)
- 国・地方公共団体等の各種審議会委員等への就任 (1,248名(うち大阪府223名))

### 国際交流の推進

- 学術交流協定校との交流(フランス、ニュージーランドなど)

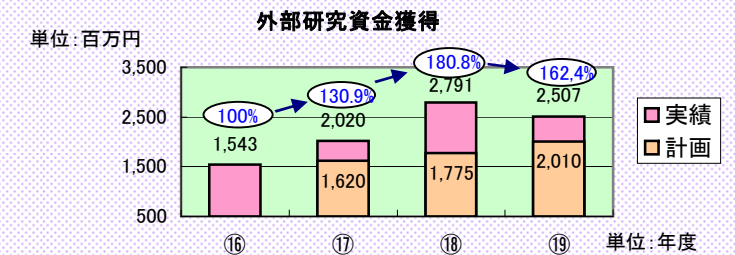
## 業務運営及び財務内容の改善

理事長の  
トップマネジメント

### 全学的経営戦略の推進

- 戦略的・重点的な予算配分制度(学長裁量経費:約139百万円)
- 外部資金獲得のインセンティブ保持方策(約15百万円)
- 法人立替払制度の活用

外部研究資金獲得額  
計画を大幅に上回る62.4%増を達成



### 内部監査機能の充実

- 内部監査の実施

### 機動的な教育研究組織の運営

- 部局横断型の共同研究グループ・21世紀科学研究所の充実

### 事務処理の効率化・合理化

- アウトソーシングや人材派遣サービスの活用(42名)
  - ・事務職員のスリム化 (19→20) 13名減

### 人事の適正化

- 理事長預かり枠による講師以上の職階への任期制の導入
- 非常勤講師、TA・RAの活用
  - ・教員配置定数 (19→20) 10名減

## 自己点検・評価及び情報提供

### 自己点検・評価の実施

- 部局及び全学単位での自己点検・評価の実施

### 情報公開等の推進

- 戦略的広報活動の充実

## 施設整備(教育研究環境の整備)

### キャンパスプラン等に基づく計画的な学舎整備

- 改訂版キャンパスプランに基づく学舎整備
  - 総合教育研究棟の建設工事の完了
  - 獣医学舎(りんくうキャンパス)、サイエンス棟・先端バイオ棟(中百舌鳥キャンパス)の建設工事の着手